

柔らかく、
光るように

Sei

[セイ]

伊藤 清永 × 伊藤 晴子
親子展

Kiyonaga Stoh

Haluco Stoh

2019. 6.1_土 ▶ 7.28_日 開館時間 | 9:30 ~ 17:00 (最終入館 16:30)
休館日 | 毎週水曜日

豊岡市立美術館 - 伊藤清永記念館 -

伊藤 清永 × 伊藤 晴子

画家同士、親子、師弟。
すこし不思議な2人の関係——。

艶やかで輝くように女性を描いた清永と柔らかく華々しく女性を描く晴子。清永は目に見えない対象の美しさを描くことに人生を懸け、晴子もまたそれを追う。

画家としての共通点やそれぞれの個性、晴子の師である清永への尊敬の念や父としての感情。作品を通じて少し不思議な親子関係に迫ります。



①



②



③

内側から溢れる美を描く2人

伊藤 清永 *Kiyonaga Itoh*

1911年兵庫県出石町に生まれる。東京美術学校（現：東京藝術大学）卒業の後、1936年帝展で「磯人」が選奨を受賞。以降、白日会や日展に精力的に出品を続け画家としての地位を固めると共に「伊藤絵画研究所」を設立するなどして後進の育成にも取り組む。常に研究を惜しまず、幾重にも色線を描く独自の手法を用いて描いた裸婦像は「発光する裸婦」と称された。

伊藤 晴子 *Halucco Itoh*

1944年東京都に生まれる。東京藝術大学卒業後、イタリア留学・勤務を経て帰国。父 清永に師事する。その後は白日会や日展へ多くの出品・受賞を重ねる。華やかな色使いと柔らかな筆使いで、対象の外面の美しさだけでなく内面の優しさを描きだす。



掲載作品 | 表:(左)伊藤清永「寛和」1979年 / (右)伊藤晴子「午後のひととき」2000年 裏:伊藤清永①「カシミール鏡」1977年 ③「少女」1953年 / 伊藤晴子②「小憩」2000年④「花の帽子」2001年

入館料 |

一般 500 円 / 大高生 300 円 / 中学生以下無料

※下記の項目に当てはまる方は割引
65歳以上 / 障害者手帳所持 / JAF 会員

主催 | 豊岡市



参加事業

アクセス



公共交通機関

(JR山陰線 → 全但バス)
JR 豊岡駅または八鹿駅下車後、全但バス(出石行)に乗車 → 出石営業所から徒歩5分

車

(京阪神から140分、姫路から100分)
中国自動車道(吉川JCT) → 舞鶴若狭自動車道(春日IC) → 北近畿豊岡自動車道(八鹿米ノ山IC) → R312号 → 出石到着

豊岡市立美術館 友の会会員募集中

美術館を楽しめる会員特典をご用意しています。入会ご希望の方はお問い合わせください。

会員特典

- 当館入館優遇
- 展示会案内
- 研修旅行

etc...

